

2018年度 認定留学 留学報告書

日本語日本文学科3年

留学先：台湾 中国文化大学華語センター

留学期間：2018年8月～2019年2月

半年間の台湾留学を通して中国語力が向上したのはもちろんのこと、一生の友達を作ることができました。台湾についてすぐの頃は、コンビニ店員の「袋いりますか?」「温めますか?」すらも聞き取れず、半年もこんな状況で生活するのか! 耐えられない! もう外に出たくない! という気持ちでいっぱいでした。留学準備講座できもちの変化について学びましたが、留学開始3日ですでに帰りたいさのピークを迎えていたと思います。

台湾に来て約1ヶ月がたったある日、朝起きて朝食を買いに早餐店に行くと店員の話している中国語がわかる! 聞かれている内容がわかる! という経験をしました。この日を境に中国語を使うことへの羞恥心や伝わらなかったらどうしようという不安が一切なくなりました。よく留学体験記などで『ある日突然聞こえるようになった』と書かれているのを目にしていますが、まさにその通りでした。

留学開始から2ヶ月後、大学のサークルに参加するようになりました。普段の私ならこのようなサークル活動に積極的に参加するような人間ではないのですが、せっかく留学しているのだから勇気を出して参加しました。そこでたくさんの友達を作る事ができたので、当時参加を決断した自分を褒めたいと思います。

中でも特に仲良しになったのは、同い年の関西出身の女の子、ポーランド人の男性、韓国人の男性の3人です。この他にもタイ人の女性、フランス人の男性とも仲良くなり、みんなで出かける事が多くなりました。

彼らと出会ってからの4ヶ月は、毎日中国語を使う環境なのでスピーキング力がかなり上がったように思われます。また、彼らと過ごす時間が長かったことから、自然と異文化交流もできた事が嬉しかったです。一緒にクリスマスパーティーをしたり、新年の花火を見たり、春節に淡水に夕陽を見に行ったりとたくさんの思い出を彼らと作る事ができて、自分はずごく幸せ者だと感じる場面がたくさんありました。共に過ごす時間が長いためか、お互いにこの人はこういうときはこんな風に言うだろうとか、これをしたなら喜ぶだろうなどと相手のことを考える事が多くなりました。

相手の気持ちを考えそれを行動に移すことは日本にいてもなかなかできることではないけれど、台湾でその事ができるようになった私は少し人間としても成長できたのでは無いかと思います。

私の留学先は言語センターなので台湾人の友達を多く作ることはできませんでしたが、台湾の文化を他国の友達と共有する経験ができたので交換留学生とは一味違う留學生活を

送れたと思っています。